

## 大麦生育状況(3月26日生育調査結果)

全体的に暖冬の影響で生育が早くなっています。平年に比べ生育は10日ほど早く、10月中旬播種ほ場では止葉展開期、11月上旬播種ほ場は止葉展開始期を迎えています。出穂期予想日は10月中旬～下旬播種では**4月5日頃から**、11月上旬～播種では**4月15日頃から**と見込まれます。また、開花初め期は10月中旬～下旬播種では**4月12～17日頃**、11月上旬～播種では**4月20～25日頃**と見込まれます。

### 令和2年産大麦 生育調査(3/26時点)

基肥		播種日 月/日	播種量 kg/10a	3/26				
品名	施用量			茎数 本/m	茎数 本/m <sup>2</sup>	草丈 cm	SPAD (葉色)	幼穂長 mm
大麦一発MFS	50	10/15	8.5	176	730.3	57.1	39.8	35
大麦一発MFS	50	11/4	10.0	136	557.4	51.9	39.9	28

10/15播種 SPAD(葉色) 37.3 (3/26時点)

11/4播種 SPAD(葉色) 39.9 (3/26時点)



去年よりSPAD(葉色)が低下している！！

### 参考:令和元年産大麦 生育調査(3/26時点)

基肥		播種日 月/日	播種量 kg/10a	3/26				
品名	施用量			茎数 本/m	茎数 本/m <sup>2</sup>	草丈 cm	SPAD (葉色)	幼穂長 mm
大麦一発MFS	50	10/19	8.0	150	600	38.7	45.9	23
大麦一発MFS	50	11/8	12.0	146	661	20.1	46.3	8

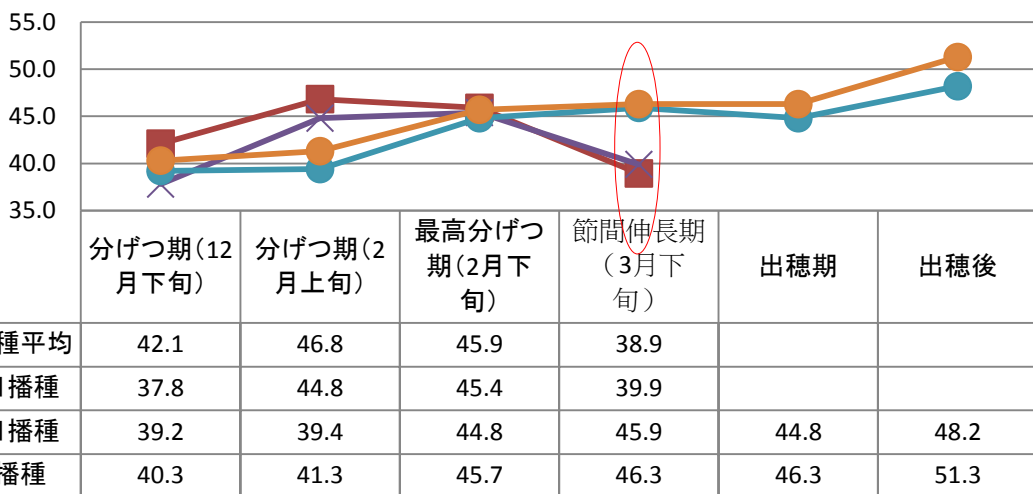
令和元年産10/19播種 SPAD(葉色) 45.9 (3/26時点)

令和元年産11/8播種 SPAD(葉色) 46.3 (3/26時点)



# 大麦の今後の管理について

## 令和2年産大麦生育調査 (SPAD)



### (1) 実肥施用

今年を上記のグラフから読み取れるように3月下旬のSPAD値が例年になく低下しています。これは暖冬の影響で肥料の溶出が早まり、肥料が切れてきたことが原因だと思われます。本来ならば一発肥料の為、施用する必要はないですが、収量・品質向上のため、一発肥料に加えて走り穂が出始めた頃(4月上旬)に実肥(硫安10kg/反=窒素成分2kg/反)の施用をご案内します！※止葉展開期より前に施用すると遅れ穂が多発し、適期防除が困難になる可能性があります。

### 【実肥量(窒素成分)の目安】

分施肥系の場合	4kg/10a
一発肥料(大麦専用MFS等)の場合	2kg/10a

**※注意！**  
生育が悪い圃場では雑草に肥料が効いてしまう場合があるため、穂揃い期に施用しましょう。



### (2) 赤かび病防除

必ず2回防除を行いましょう。1回目は開花始め、2回目は1回目の1週間後です。以下の目安を参考に防除の準備を進めましょう。

**【防除時期の目安】** 播種時期のバラつきで圃場毎の生育ステージにも差が生じています。防除時期はあくまで目安です。開花期もバラつく恐れがあるので、ご注意ください。

播種時期	出穂期の予想	1回目の防除(開花初め)	2回目防除(1回目の1週間後)
10月中～下旬	4月5日頃	4月12～17日	4月19～24日
11月上旬～	4月15日頃	4月20～25日	4月27日～5月2日